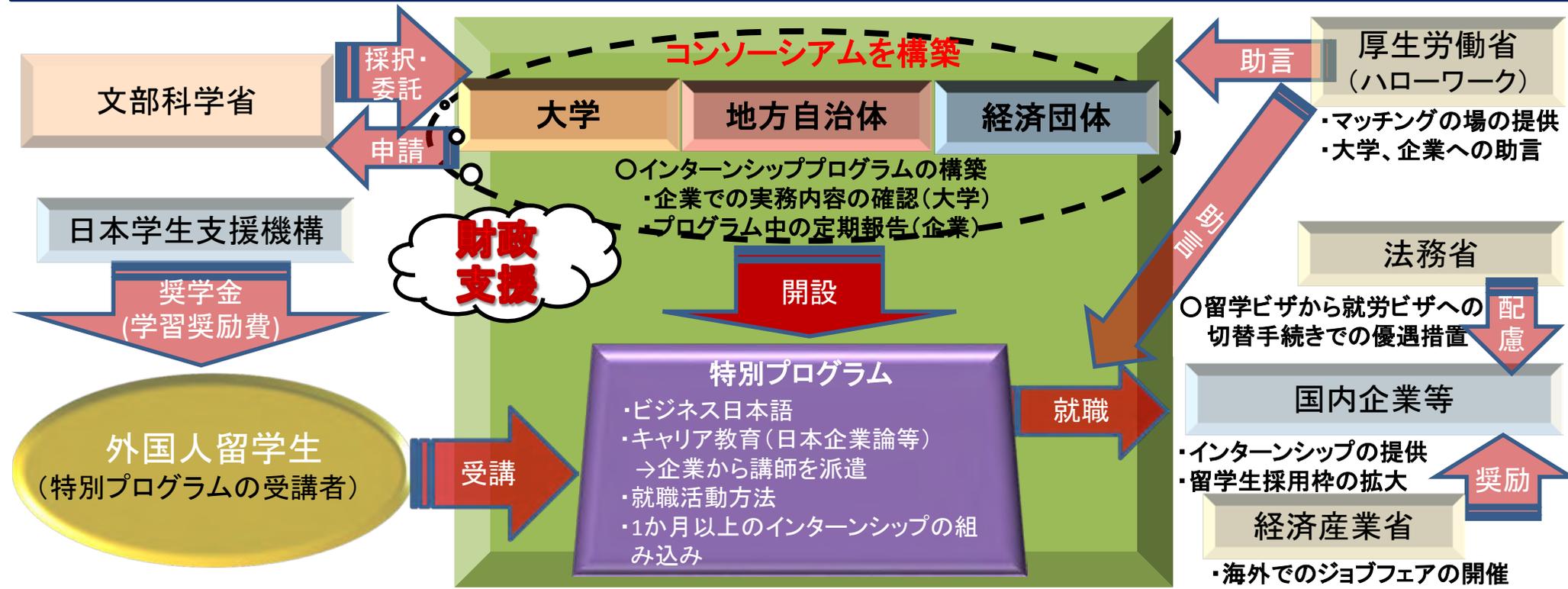


事業概要

- 課題：留学生の日本国内での就職における課題として、企業において改善を図るべき点がある一方、大学等においても取り組める内容がある。
【留学生が国内企業で採用されるために求められる能力】
 - ・現状、大多数の国内企業内の公用語は日本語であるため、一定水準以上の日本語能力が必要
 - ・日本企業における採用慣行や働き方（採用者の将来性や潜在能力を評価、ゼネラリストとしてあらゆる職務に対応できる能力を求める）に関する理解
- 対応：上記を踏まえ、各大学が地域の自治体や産業界と連携し、就職に必要なスキルである「ビジネス日本語」「キャリア教育（日本企業論等）」「中長期インターンシップ」を一体として学ぶ環境を創設する取組を支援し、外国人留学生の我が国での定着を図るとともに、日本留学の魅力を高め、諸外国から我が国への留学生増加を図る。
- 地域単位の取組に加えて、留学生の専攻や就職する企業の業種等に応じて、大学・企業等が地域横断的に連携して行う、留学生の就職促進の取組を新たに構築する（2拠点程度）。



国内外の芸術家等が一定期間滞在し、様々な交流を通して創作活動や将来の創作活動等に有益となるプログラムを提供するアーティスト・イン・レジデンス(AIR)※事業を支援することにより、AIR実施団体の国際的な協力関係が活発になり、国内外の芸術家等との双方向の国際文化交流が継続的に行われる状況を創出する。

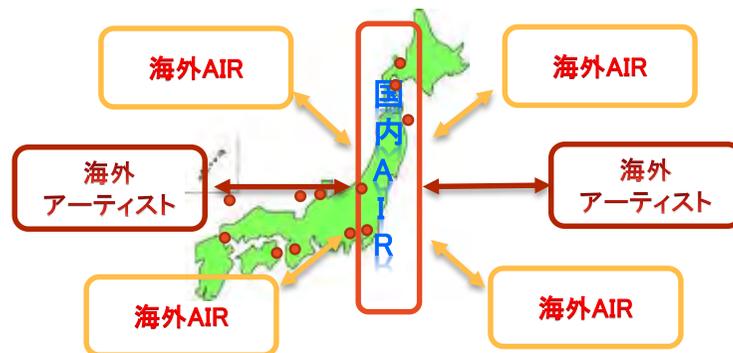
※アーティスト・イン・レジデンス(AIR)…国内外の芸術家を招へいし、地域で滞在型の芸術活動を行うもの

現状 海外の芸術家との交流が萌芽



次の段階

海外のAIR団体との日常的かつ、継続的な交流が実現



【事業内容】

○国内のアーティスト・イン・レジデンス団体に対する支援

- ・国内外のアーティストが一定期間、地域に滞在して行う創作活動や研究・調査活動を支援
- ・これに関連する地域でのアウトリーチ活動(広く一般の方を対象とする作品発表、セミナー、ワークショップ等)を支援

○支援対象となる団体

1. 拠点的なAIR団体(700万円を上限)

他のAIR団体との連携や他のAIR団体への支援を行い、全国の拠点となるような団体

2. 小規模なAIR団体(300万円を上限)

全国津々浦々で、外国人アーティストが創作活動を行えるよう、小規模あるいは新規団体



<アーティスト・イン・レジデンスでの創作活動>

- 我が国のアーティスト・イン・レジデンスが、国境を越えたアーティストの交流の場として機能
- 地域における国際文化交流の推進